

2026 年度 社会学部学校推薦型選抜指定校制推薦入学

【 小 論 文 課 題 】

【問題】

近年、日本の若者たちが海外のワーキングホリデーを利用する目的が変化していると言われています。一方、諸外国から日本国内に、ワーキングホリデー制度を利用して働きに来る若者も増えており、今後のワーキングホリデー受け入れ対象国やビザの取得回数の拡大も検討されています。このような、国境を越えた人々の移動に関する資料 A～D をもとに、以下の間に答えてください。

<問1>

資料 A、B、Cに目を通し、その内容を要約してください。その際、(1)日本から海外に行く若者のワーキングホリデー、(2)海外から日本に来るワーキングホリデー、それぞれのケースに分けて、資料内にあるグラフにも言及しつつ、ワーキングホリデーの現状や、その現象が生じている社会的背景について、全体 450 字程度でまとめてください。

<問2>

資料Dに目を通してください。資料A～Cの内容もふまえつつ、初めに、日本や諸外国の若者たちのワーキングホリデーに共通する特徴や課題として読み取れることをいくつか指摘してください。続けて、資料 A～D すべての内容を手掛かりに、今後の日本で、諸外国からのワーキングホリデー受け入れを拡大する際には、どのようなことを検討していく必要があるかについて、あなたの意見を 450 字程度で論じてください。

<出典>

資料A:『『出稼ぎ』ワーキングホリデー 渡航先の職探し『甘くない』』(『日本経済新聞』2024 年 1 月 29 日)

資料B:「豪州殺到 ワーホリ飽和」(『朝日新聞』2024 年 8 月 17 日)

資料C:「欠かせぬ助っ人、海外から スキー場支えるワーホリ利用の若者」(『朝日新聞』2023 年 12 月 28 日)

資料D:「日本に暮らす外国人 斎藤聖子さん 将来像描き 受け入れ方の議論を」(『朝日新聞』2025 年 8 月7日)

*印刷の都合上、一部の資料について、レイアウトを変更しています。

資料 A

著作権の都合により掲載できません

資料 B

著作権の都合により掲載できません

資料 C

著作権の都合により掲載できません

資料 D

著作権の都合により掲載できません